

プライマリ・ケア「塾」ープロが語るプライマリ・ケアー

ー臨床、コミュニケーション、経営までー

主催 NPO(特定非営利活動)法人プライマリ・ケア教育ネットワーク <http://www.pc-education.jp>

1. 開催趣旨

「総合科」が医道審議会で議論され、プライマリ・ケア関連学会の合併、「総合(診療)医」養成・認定のプログラムの動きも盛んになってきました。「プライマリ・ケア」を名乗る開業も増えています。私たちは、プライマリ・ケアを担うものとしての開業医、診療所医師らの存在が問われていると認識し、「総合する専門医」としてのプライマリ・ケア医、そのプロフェッショナルを目指す医師らに少人数集中で、各界のプロが講義するプライマリ・ケア塾を開催、「現場力」を付けるための機会とします。

2. 内容 ※臨床スキル、コミュニケーション・スキル、経営スキルを実践的に学ぶ

1日目

- 13:00～14:30 指導者が語る 理事長 伴信太郎(名古屋大学総合診療部)
「プライマリ・ケア医になるためのトレーニング」
- 14:45～16:15 患者視点から語る NPO法人 COML 事務局長 山口育子
「医師・患者間の関係性を構築するためには」
- 16:30～18:00 コンサルが語る 副理事長 松村真吾(株式会社メディサイト)
「プライマリ・ケア開業は報われるか？」

2日目

- 10:00～11:30 開業医での実践を語る 日本プライマリ・ケア学会副会長 木戸友幸(木戸医院)
「地域での実践、診療でのコミュニケーション、現場で大切なこと」
- 11:45～13:15 在宅を語る 菜の花診療所院長 山寺慎一
「在宅医療、それは高齢者にとってのプライマリ・ケア」
- 13:15～14:00 休憩・交流
- 14:00～15:00 無くてはならないお金の話 理事 増田泰之(増田経営会計事務所)
「ドクターは数字に弱い? 勘定合って銭足らず、って知ってますか」
- 15:00～16:00 もっとも苦勞する労務の話 中土井社会保険労務士事務所 中土井浩志
「どうしたらやる気にさせられるか? ルールづくりが肝心」
- 16:00～17:00 総括質疑

3. 講師紹介(登場順)

伴 信太郎 名古屋大学付属病院総合診療部教授。家庭医療学会代表などを歴任
山口育子 NPO法人ささえあい医療人権センター(COML)事務局長。患者主体の医療を唱える
松村 真吾 株式会社メディサイト代表。経営コンサルタント・医院事務長として活動
木戸 友幸 木戸医院院長。開業医代表でプライマリ・ケア学会副会長を務める
山寺 慎一 菜の花診療所院長。大阪・生野で在宅中心の地域医療に取り組む
増田 泰之 増田経営会計事務所所長。MMPG(医事会計専門家全国組織)理事を務める
中土井浩志 中土井社会保険労務士事務所所長。医療機関を含め労務問題経験は豊富

4. 日時 2008年8月16日(土)13時～18時(12時半受付開始)

17日(日)10時～17時(9時半受付開始)

5. 場所 16日(土)

大阪市北区大阪駅前第一ビル11階 神戸大学学友会 大阪凌霜クラブ

<http://home.kobe-u.com/osaka/guide/map.html>

17日(日)

大阪市東淀川区井高野3-3-61 木戸医院

<http://www.carefriends.com/kido/dinic.html>

6. 受講費 20,000円(会員10,000円)

7. 定員 10名まで(定員に到達次第締め切らせて頂きます)

8. お問合せ・お申込み先 プライマリ・ケア塾大阪事務局(メディサイト内)

FAX06-6243-0086 info@pc-education.jp

お名前(所属等)、連絡先(住所、TEL、アドレス)を明記の上、お申し込みください

本件に関する詳細は、

TEL06-6243-2993 info@pc-education.jp

事務局 松村真吾までお問い合わせください。